



## 平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月2日

上場会社名 ザインエレクトロニクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6769 URL <http://www.thine.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 康裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 山本 武男 TEL 03 (5217) 6660  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	2,424	15.9	△232	—	△293	—	△291	—
28年12月期第3四半期	2,092	△22.1	△185	—	△528	—	△556	—

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 △289百万円 (—%) 28年12月期第3四半期 △720百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	△27.46	—
28年12月期第3四半期	△52.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	9,172	8,788	95.6
28年12月期	9,457	9,132	96.4

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 8,766百万円 28年12月期 9,120百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	9.00	9.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期（予想）	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,008	3.6	△682	—	△677	—	△680	—	△64.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	12,340,100株	28年12月期	12,340,100株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	1,700,351株	28年12月期	1,745,051株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	10,624,560株	28年12月期3Q	10,561,285株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、企業収益や設備投資に改善が見られ、景気は緩やかながらも回復基調が継続しているものの、個人消費の十分な回復までには至らず、また海外においては新興国経済の成長の鈍化や欧米の政治動向への懸念等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような環境の下で、当社グループは今期より2019年を目標年次とする新中期経営戦略「J-SOAR」をスタートさせました。インターフェース技術を軸足としてお客様の課題を解決し、当社グループ独自の日本発ソリューションを世界市場に提供することにより、ビジネスの飛躍を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、産業機器市場向け製品の出荷が計画を上回り堅調に推移しました。主に、当社独自の高速情報伝送技術V-by-One®HSを搭載した高精細ゲーミングモニター向けの製品や、国内の事務機器市場およびアミューズメント市場向けのビジネスが前年同期を上回って推移しました。また、車載市場向けには純正品向けの製品出荷が前年同期比で約3倍増となり、車載フルHDパネル等での製品適用が拡大しました。これらの結果、売上高および売上総利益は全体で計画を約1割上回る結果となり、当第3四半期連結累計期間における売上高は24億24百万円（前年同期比15.9%増）、売上総利益は14億83百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

今期は新中期経営戦略「J-SOAR」初年度であり、研究開発投資を前倒して集中投入し、飛躍軌道への復帰に向けた基幹となる成長エンジンを確立する方針であります。当第3四半期連結累計期間においては、USBの次世代規格USB3.1 Gen2（伝送速度が10Gbps（1秒間に100億ビット））に対応したリドライバ新製品の量産化およびラインナップ拡充に向けた製品開発を行いました。さらに4Kテレビ機器内インターフェース技術のデファクトスタンダードであるV-by-One®HS規格に続く次世代高速インターフェース規格としてV-by-One®US技術の仕様を策定し、2020年東京オリンピックや高解像度カメラをはじめとする8K映像を強力にサポートするため、同技術を搭載したASSP製品のリリースに向けての研究開発活動を加速させております。その他、高解像度カメラソリューションに対応した製品等の開発を行い、当第3四半期連結累計期間において、研究開発費10億56百万円（前年同期比11.9%増）を投資しました。これらの活動により、当第3四半期連結累計期間における営業損失は2億32百万円（前年同四半期は営業損失1億85百万円）となりました。

また前期末より円高が進行したこと等により、経常損失は2億93百万円（前年同四半期は経常損失5億28百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億91百万円（前年同四半期は親会社株主に属する四半期純損失5億56百万円）となりました。なお、当社グループは、当四半期末日において約19百万米ドルのドル建て資産を保有しております。

※「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

### (2) 財政状況に関する説明

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における、営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純損失を2億89百万円計上した一方、円高の進行により為替差損を69百万円計上したこと等により1億28百万円のマイナスとなりました。（前年同期は1億65百万円のマイナス）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、定期預金の払戻による収入等により4億26百万円のプラスとなりました。（前年同期は2億70百万円のプラス）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払等により69百万円のマイナスとなりました。（前年同期は88百万円のマイナス）

これらの結果により、現金及び現金同等物は全体として1億77百万円増加して、当第3四半期連結会計期間末残高は60億44百万円となりました。当社グループとしては、機動的な研究開発リソースの確保やM&Aの機会に迅速に対応できるよう内部留保を厚くする方針であり、資金運用に関しても流動性を重視した運用を行うこととしております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の通期業績予想については、平成29年7月10日に公表しました業績予想から変更はありません。なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,216,652	6,044,318
売掛金	312,966	325,890
商品及び製品	193,197	182,012
仕掛品	43,312	55,261
原材料	47,644	52,347
その他	157,152	133,769
流動資産合計	6,970,924	6,793,599
固定資産		
有形固定資産	79,908	103,167
無形固定資産	11,110	9,695
投資その他の資産		
投資有価証券	2,307,559	2,175,643
その他	88,211	90,452
投資その他の資産合計	2,395,771	2,266,095
固定資産合計	2,486,790	2,378,959
資産合計	9,457,714	9,172,558
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	138,147	133,730
未払法人税等	10,437	7,711
賞与引当金	19,429	25,669
その他	113,728	167,698
流動負債合計	281,742	334,809
固定負債		
繰延税金負債	19,025	25,272
資産除去債務	24,072	24,319
固定負債合計	43,097	49,591
負債合計	324,840	384,400
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,175,267	1,175,267
資本剰余金	1,291,162	1,291,162
利益剰余金	9,370,794	8,948,293
自己株式	△2,613,997	△2,547,037
株主資本合計	9,223,226	8,867,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△143,991	△147,257
為替換算調整勘定	40,795	46,059
その他の包括利益累計額合計	△103,195	△101,198
新株予約権	12,844	21,671
純資産合計	9,132,874	8,788,158
負債純資産合計	9,457,714	9,172,558

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,092,033	2,424,624
売上原価	788,665	940,887
売上総利益	1,303,367	1,483,736
販売費及び一般管理費	1,489,252	1,716,244
営業損失(△)	△185,885	△232,508
営業外収益		
受取利息	5,674	12,840
受取配当金	4,180	20,935
雑収入	2,011	2,937
営業外収益合計	11,866	36,713
営業外費用		
持分法による投資損失	20,293	12,889
為替差損	332,984	77,766
雑損失	1,674	7,533
営業外費用合計	354,952	98,189
経常損失(△)	△528,970	△293,984
特別利益		
新株予約権戻入益	87	4,358
特別利益合計	87	4,358
税金等調整前四半期純損失(△)	△528,883	△289,625
法人税等	27,460	2,155
四半期純損失(△)	△556,343	△291,780
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△556,343	△291,780

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△556,343	△291,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132,074	△3,266
為替換算調整勘定	△32,291	5,263
その他の包括利益合計	△164,365	1,997
四半期包括利益	△720,709	△289,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△720,709	△289,783
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△528,883	△289,625
減価償却費	31,879	21,470
株式報酬費用	—	18,544
新株予約権戻入益	△87	△4,358
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,332	6,240
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,200	—
持分法による投資損益(△は益)	20,293	12,889
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	5,097	—
受取利息及び受取配当金	△9,855	△33,776
為替差損益(△は益)	288,311	69,530
売上債権の増減額(△は増加)	42,767	△12,560
たな卸資産の増減額(△は増加)	37,742	△5,467
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△13,635	△30,646
仕入債務の増減額(△は減少)	90,358	△4,417
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△14,809	41,732
その他	2,702	1,174
小計	△58,986	△209,269
利息及び配当金の受取額	10,123	34,018
法人税等の支払額	△116,288	△5,974
法人税等の還付額	—	52,620
営業活動によるキャッシュ・フロー	△165,151	△128,604
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	336,000
固定資産の取得による支出	△21,241	△28,375
敷金の差入による支出	△3,737	△3,115
敷金の回収による収入	—	989
投資有価証券の取得による支出	△25,000	△25,000
投資有価証券の償還による収入	311,037	146,076
その他	9,823	△130
投資活動によるキャッシュ・フロー	270,881	426,444
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△94,597	△95,355
ストックオプションの行使による収入	6,204	23,109
その他	—	3,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,393	△69,118
現金及び現金同等物に係る換算差額	△321,122	△51,584
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△303,786	177,136
現金及び現金同等物の期首残高	6,152,799	5,867,182
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,849,012	6,044,318



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。